

2021年度 亀山市立野登小学校 研究デザイン

教育大綱 基本方針―I

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしなが
なかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

学校教育目標 めざす学校像

「地域とともに豊かな心でたくましく生き生きと活動する子の育成」
・地域とつながり、活力あふれる学校
・一人ひとりの子どもが生き生きと学び活動する学校

めざす子ども像

- ＜心豊かな子＞
- ・自分や相手を大切に、仲間とともに高め合える子
- ＜すすんで学ぶ子＞
- ・確かな学力を身につけ、主体的に学ぶ子
- ＜たくましい子＞
- ・命、人権を大切に、健やかに育つ子

めざす教師像

- ・専門性を高め、授業力の向上に努める教職員
- ・子どもの声や思いを大切にする教職員
- ・地域や家庭と協働し、連携を深めようとする教職員

重点目標

- ・地域や家庭と連携し、地域資源を活かした教育活動を充実し、安心安全な学校づくりを進めます。
- ・確かな学力の定着を図り、主体的で対話的な授業づくりを進めます。
- ・仲間とつながり合い、高め合う教育活動を進めます。
- ・教職員の働きやすい環境づくりを進めます。

野登小の特色ある取組 ～ふるさと学習～

- ☆ ののぼりの自然から学ぼう
・里山探検 ・安楽川の生き物 ・ミツマタから野登和紙作り
- ☆ ののぼりの文化や歴史から学ぼう
・古墳 ・不動院地下工場
- ☆ ののぼりの達人から学ぼう
・俳句作り ・ろうけつ染め ・でか書道 ・米作り ・お茶作り



中部中学校区研究主題

主体的な学びと対話的な活動のある授業づくり～学びをつなぎ、高め合う子の育成～

野登小学校研究主題

考えることを楽しみ、学びをつなぐ言語力の育成
～論理的に伝える力を伸ばす、国語科の指導の工夫～

研究主題設定の理由

① 児童の実態

- ・全体的に明るく活発で、学習課題に意欲的に取り組むことのできる児童が多い。
- ・叙述を基に読解することのできる児童が多い。
- ・語彙力が乏しく、自分の考えを的確に伝えられない児童がいる。
- ・表現力やコミュニケーション力が乏しく、自分の考えを論理的に伝えることが苦手な児童が多い。
- ・聞く姿勢を瞬時に整えられない児童、一斉指導を聞き逃してしまう児童がいる。
- ・グラフや表を読み取って説明することに課題のある児童が多い。
- ・基本的な計算や漢字の定着が不十分な児童がいる。

② 研究の歩み

本校では、根拠を基に考えたことを論理的に説明できる姿を目指して、2019年度から研究領域を国語科に設定し研究を進めてきた。2020年度は、論理的な思考と表現の力をより向上できるようにと、国語科の説明文に的を絞り、研究主題を「考えることを楽しみ、学びをつなぐ言語力の育成～国語科の説明文を通して、書く力、話す力を伸ばす～」と設定し研究を行った。児童が「考えることを楽しむ」ことのできるように、言語活動や導入を工夫することで、児童の書く活動に対する意欲を高めることができた。また、つけたい言語力を明確にして授業づくりに臨むことができた。その結果、叙述を基に読解する力が向上し、組み立てて文章を書くことも少しずつできるようになってきた。しかし、その個人差は大きく、論理的に話したり書いたりすることが苦手な児童も依然として多いのが現状である。

③ 今年度の研究主題

上記の実態から、今年度も、研究主題を継続し、論理的に自分の考えを伝える力の向上に取り組んでいく。国語科を中心に、書く力だけでなく話す力の向上にも取り組んでいきたい。

考えることを楽しむ姿とは

- ・課題に対して、あきらめずに粘り強く試行錯誤することができる。
- ・多様な意見が出せる場面において、根拠を持って意欲的に伝えられる。

学びをつなぐ言語力とは

- ・豊かな語彙力
- 【低学年】事柄の順序を考え、理由とともに伝える力。
- 【中学年】事例や理由を挙げ、話の中心を明確にして伝える力。
- 【高学年】事実と意見・感想とを区別して伝える力。